

授業改善等に関する報告書（2021年度前期）短期大学部

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2021（前期）日本語コミュニケーション学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
日本文学の歴史・近代	高瀬真理子	<p>学生の理解度や満足度が、成績のばらつきとほぼ同じように出てしまったように思います。 基本的な科目である上に、オーソドックスであることを求められていますが、その上で、興味の持てる工夫は続けていきたいと思っています。</p>
古典文学を読む	福島史子	<p>全体的に平均よりも低い評価であることに力不足を感じております。皆さんがこの授業のために長い時間を割いてくださいましたのに（設問2）。 メディア授業にしなければならない、オンデマンド型にしようと思ったとき、先ず考えたのは板書メモを充実させることでした。教科書プリント、資料と音声だけではわかりづらいだろうと思われたからです。通常の対面授業では板書したうえで行う口頭説明を書き加えました。しかし、設問9. 板書や……配布資料のわかりやすさ の評価はやや低めでした。設問18 17（この授業で内容に対して、どの手法が一番相応しいと思いますか？（オンデマンド型、双方向型、オンデマンド型・双方向型、その他））の理由 に「とても分かりやすい資料で振り返りやすかった」、授業資料などを「丁寧に作って」いたため「オンデマンド型でも特に不便を感じることなく受講することができ」た等の指摘もあったことを考え合わせると、一定の効果はあったのでしょうか。 設問4. 授業の理解度、設問7. 説明のわかりやすさ、設問11. 成長の実感の評価も低めでしたが、設問12. 具体的に成長を実感したことについて および 設問19. 授業を受けて良かったことや…… に「登場人物の言動からどのような心情が読み取れるかということを考えることで、読解力や洞察力が養われたように感じ」た、「源氏物語や光源氏の今まで知らなかった側面を見ることができた」等の声も寄せられました。今後はさらに内容を厳選し、噛み砕いて説明して大方の理解を得られるようよう努めたいと思います。一方で、「やや難しい」が「おもしろい」くらいの授業もよいのではないかとも思われるのですが……。</p>
ノンバーバルコミュニケーション論	西脇智子	<p>オンデマンド型授業に起因する難しさもありました。設問18 に「質問もしたい」という声がありましたが、私自身も対面型であれば、その場で皆さんの反応を確かめることができるのにと、歯痒い思いもしました。 毎回ミニレポートを課題としたため負担があったと思います。総じて充実した内容でした。前述のように、皆さん長い時間を割いて考えてくださった成果だと思われまます。「課題や問題を発見する力が身に付いた」、「古典文学を読み解き、それについて述べる力が身に付いた」等の感想もありました。 今後の大きな課題としてフィードバックの方法が挙げられます。 なおミニレポートやアンケートに、他の巻あるいは関連する作品も読んでみたいという感想があったことは大変嬉しく思います。この授業を契機に、古典文学に興味を寄せ、広げ、深めていっていただけたら幸いです。 皆さん、不慣れな私のオンデマンド型授業にお付き合いくださってありがとうございました。お礼申し上げます。</p>
情報学への招待	板倉文彦	<p>毎回ミニレポートを課題としたため負担があったと思います。総じて充実した内容でした。前述のように、皆さん長い時間を割いて考えてくださった成果だと思われまます。「課題や問題を発見する力が身に付いた」、「古典文学を読み解き、それについて述べる力が身に付いた」等の感想もありました。</p>
文学とコミュニケーション	高瀬真理子	<p>学生の皆さんの授業評価について、総合満足度および授業内容・方法に関しては平均を上回る評価となりました。 フリーコメントでも「知識が身に付いた」「理解が深まった」とのコメントを多くもらいましたが、アンケート項目の「自身の成長が実感できたか」については平均値以下となりました。このことから、身に付いた知識に対する「自信」がついていないことが想定されますので、今後の改善事項として取り組みたいと思います。</p>
ビジネスマネジメント	板倉文彦	<p>今回、丁寧に説明をしていたのは良いですが、最後の作品が社会や共同体でのコミュニケーションを考えるのに、十分な時間がありませんでした。映像資料の反応は良かったと思いますが、十分な時間捻出のためにもまとめのプレゼン資料を考えたいと思います。とはいえ、それぞれでの作品の読解の労は惜しまないでくださいね。</p>
		<p>経営学関連科目で取り扱う内容(用語)が学生にとっては難しいものが多くありましたが、フリーコメントからは学生の皆さんは頑張って理解いただけことがうかがえます。また、本科目はオンライン対応科目として開講しましたが、学生からは肯定的な意見を多くいただくことが出来ました。しかし、アンケートの評価値自体は平均値を下回っており、フリーコメントとのギャップが感じられます。今後は対面授業と遜色ない満足度に来るよう、さらなる工夫を重ねたいと思います。</p>

ライティングスキルa	鹿島千穂	<p>今年度、初めて開講した授業でした。さらにオンデマンドでの実施でしたので、履修生のみなさんの表情をうかがいながら授業を進めることができず「手探り状態」でしたが、総合的な評価が比較的高くホッとしています。</p> <p>授業では、「放送原稿」「ウェブサイトの記事」「新聞コラム」「企画書」という4つのタイプの文章を執筆してもらいました。ほとんどの人はこういったタイプの文章を書いた経験がなく、執筆には相当時間がかかったようです（アンケートの質問2.「あなたのこの授業における週あたりの予習復習時間はどれくらいでしたか？」の結果が平均よりもだいぶ上回っていることから見てとれます）。</p> <p>また、アンケートの自由記述欄には「課題のボリュームがあるので、締め切りの期間を3日間ではなく5日間くらいにしてもらえると、もう少し完成度の高いものを書けたと思う」というコメントがありました。他の課題と並行して、リサーチ、執筆、推敲することは確かに大変な作業だったと思います。このような貴重な意見を、次年度からの授業内容に反映していきたいと思っています。</p>
ビジネストーク演習②	鹿島千穂	<p>「ビジネストーク演習」はコミュニケーションに関する理論を学び、実践を繰り返しながら「話し言葉」をブラッシュアップしていく授業です。「話す」ことを体系的に学ぶ授業は初めてという学生が多く、最初のうちは人前で話すことに戸惑いや恥ずかしさもあるようでしたが、徐々にグループワークや発表にも慣れ、楽しんでいる様子が伝わってきました。</p> <p>緊急事態宣言によりオンライン授業となった期間には、Zoomでの発表も行いました。その結果、対面とオンライン両方の発表を通して、コミュニケーションを多角的に捉え、さまざまな気づきを得ることができたのも良い経験でした。「授業を通して自身の成長が実感できた」と答えた学生が多いことを嬉しく思っています。</p> <p>「話す力」は一生の財産です。この授業で学んだことを、今後の学生生活や社会に出てからの活動に活かしていきましょう。</p>
医療とコミュニケーション	西脇智子	<p>音声を伴わないオンデマンド授業となりましたが、心がけました説明のわかりやすさ＝4.51、総合的に判断して授業に満足＝4.42、という評価をいただきありがとうございます。大変励みになりました。今後ともわかりやすい授業をめざして精進して参ります。</p>
ビジネストーク演習④	鹿島千穂	<p>「ビジネストーク演習」はコミュニケーションに関する理論を学び、実践を繰り返しながら「話し言葉」をブラッシュアップしていく授業です。「話す」ことを体系的に学ぶ授業は初めてという学生が多く、最初のうちは人前で話すことに戸惑いや恥ずかしさもあるようでしたが、徐々にグループワークや発表にも慣れ、楽しんでいる様子が伝わってきました。</p> <p>緊急事態宣言によりオンライン授業となった期間には、Zoomでの発表も行いました。その結果、対面とオンライン両方の発表を通して、コミュニケーションを多角的に捉え、さまざまな気づきを得ることができたのも良い経験でした。「授業を通して自身の成長が実感できた」と答えた学生が多いことを嬉しく思っています。</p> <p>「話す力」は一生の財産です。この授業で学んだことを、今後の学生生活や社会に出てからの活動に活かしていきましょう。</p>
コミュニケーションスキル入門	鹿島千穂	<p>もともとは対面授業の科目でしたが、緊急事態宣言中はオンデマンド授業で実施しました。オンデマンド授業では、どちらかというと内省的な学びを中心に行い、テーマに沿って自身の考えを400字のレポートにまとめて毎回提出してもらいました。回を重ねるごとに意見のまとめ方が上手になり、評価が上がっていく人が多く、成長を見ることができました。</p> <p>対面授業が再開されてからは、教室での講義とワーク、ディスカッションを通して学びを深めました。オンデマンド授業が長かったせいか、ディスカッションや発表にぎこちなさも感じましたが、なかにはリーダーシップを発揮して意見をまとめる学生もいて頼もしい限りでした。</p> <p>授業で学んだコミュニケーションスキルを、ぜひ今後の学生生活や就職活動等に活かしていきましょう。</p>
卒業研究 a ②	高瀬真理子	<p>ゼミ希望順位の低い人たちが混ざっていたので、何をどのようにすればいいのかの戸惑いがあったと思います。</p> <p>中間発表への道のりと、コロナで図書館に通えない日々が重なったことも追い打ちをかけました。研究の幅が広いので、どのようにみなで共有を図るかを課題にしなが、後期へ結びつけていきたいと思っています。</p>
卒業研究 a ⑤	鹿島千穂	<p>前半は私たちを取り巻くメディア環境を概観し、後半は各自で卒業研究レポートのテーマを決定してアウトラインを考えました。2度の発表を通して自分の研究テーマを深めていくだけでなく、他のゼミ生の研究テーマにも興味を持ち、積極的にディスカッションする姿勢に感心しました。</p> <p>授業アンケートの「この授業における週あたりの予習復習時間」の長さ、みなさんの努力が表れていますね。後期はいよいよ卒業研究レポートの執筆へと進んでいきます。2年間の集大成として納得のいく作品ができるよう、頑張りましょう。</p>

<p>ビジネストーク演習③</p> <p>鹿島千穂</p>	<p>「ビジネストーク演習」はコミュニケーションに関する理論を学び、実践を繰り返しながら「話し言葉」をブラッシュアップしていく授業です。「話す」ことを体系的に学ぶ授業は初めてという学生が多く、最初のうちは人前で話すことに戸惑いや恥ずかしさもあるようでしたが、徐々にグループワークや発表にも慣れ、楽しんでいる様子が伝わってきました。</p> <p>緊急事態宣言によりオンライン授業となった期間には、Zoomでの発表も行いました。その結果、対面とオンライン両方の発表を通して、コミュニケーションを多角的に捉え、さまざまな気づきを得ることができたのも良い経験でした。「授業を通して自身の成長が実感できた」と答えた学生が多いことを嬉しく思っています。</p> <p>「話す力」は一生の財産です。この授業で学んだことを、今後の学生生活や社会に出てからの活動に活かしていただきたいと思います。</p>
<p>卒業研究 a ③-1</p> <p>大塚みさ</p>	<p>ほぼ全員が、授業を通して自己成長を実感できたと回答していたことをうれしく感じました。各自が2～3月に温めてきた研究テーマを、着実に発展させられた結果かと思えます。</p> <p>自由記述欄にはプレゼンテーション力が磨かれたという声が多く、また質問やディスカッション力が身についたという意見も見られました。</p> <p>みなさんが培った力を後期の「卒業研究b」でさらに伸ばしていけるようにするとともに、来年度のこの授業もさらに改善を重ねたいと思えます。</p>
<p>卒業研究 a ③-2</p> <p>大塚みさ</p>	<p>ほぼ全員が、授業を通して自己成長を実感できたと回答していたことをうれしく感じました。各自が2～3月に温めてきた研究テーマを、着実に発展させられた結果かと思えます。</p> <p>自由記述欄には課題発見力や計画立案力、そして発信力が身についたという声のほか、他の学生の発表から視野を広げられたという意見も見られ、成長ぶりを感じました。</p> <p>みなさんが培った力を後期の「卒業研究b」でさらに伸ばしていけるようにするとともに、来年度のこの授業もさらに改善を重ねたいと思えます。</p>
<p>ビジネストーク演習①</p> <p>鹿島千穂</p>	<p>「ビジネストーク演習」はコミュニケーションに関する理論を学び、実践を繰り返しながら「話し言葉」をブラッシュアップしていく授業です。「話す」ことを体系的に学ぶ授業は初めてという学生が多く、最初のうちは人前で話すことに戸惑いや恥ずかしさもあるようでしたが、徐々にグループワークや発表にも慣れ、楽しんでいる様子が伝わってきました。</p> <p>緊急事態宣言によりオンライン授業となった期間には、Zoomでの発表も行いました。その結果、対面とオンライン両方の発表を通して、コミュニケーションを多角的に捉え、さまざまな気づきを得ることができたのも良い経験でした。「授業を通して自身の成長が実感できた」と答えた学生が多いことを嬉しく思っています。</p> <p>「話す力」は一生の財産です。この授業で学んだことを、今後の学生生活や社会に出てからの活動に活かしていただきたいと思います。</p>
<p>ビジネスリテラシー入門</p> <p>板倉文彦</p>	<p>本科目は毎週新聞課題を課しており、受講生の皆さんには大変だったかと思えます。</p> <p>アンケートのフリーコメントからは、ビジネスリテラシーの用語・内容について理解できたとのコメントを多くいただくことが出来ました。しかし、アンケート項目の理解度や自身の成長実感については平均値を下回ったため、より受講生の皆さんが自信をつけられる方策を探っていきたいと思えます。</p>
<p>卒業研究 a ①</p> <p>佐藤辰雄</p>	<p>1) 研究の方法を実感すべく『捜神記』や『方丈記』を主材料として、各話の連鎖性・表現の特徴等、分析力の向上目指して時間を割いた。慣れない作業に苦労した様は、他科目より時間を費やしたにも拘らず(Q2)、Q4理解度の低さやQ7・Q9の教員の説明系批評に影響し、Q14の自己採点に明確に表れたと考える。</p> <p>2) 従来なら漢文文献も考察対象にして広く作品分析法を修得するのだが、今年は本文分析に留まったのが残念だ。後期の個人発表で補うことが求められる。</p> <p>3) とりわけ1)に見られた自信のなさはQ14に顕著に表れて自己採点は3.50と極めて慎ましやかである。Q2予復習時間がずっと多く、精一杯努力したものの不足を感じたからこそその評価と理解するが、根拠のない自信を持たないが良い。</p> <p>担任の学生評価は4.17。じっくり頑張った発表が多く、尻上がりに充実してゼミ発表のレベルを上げていった。恐らく予想外の評価に慢心することなく卒研レポートの完成に向けて精進してもらいたい。</p>
<p>日本語の発見</p> <p>大塚みさ</p>	<p>この授業は3回目からオンライン（オンデマンド動画で講義+Zoomでディスカッション）で実施しました。「双方向授業等の工夫」（Q8）や「資料の分かりやすさ」（Q9）等についてはほぼ全員から高い評価をいただき、「ふさわしい授業実施方法」（Q17）の回答は「対面」が52%だったことから、オンライン授業でも問題なく受講してもらえたと理解しました。ただし、自由記述からは、グループワークやプレゼンについては対面が望ましいという声が多く見られました。</p> <p>「具体的に成長を実感したこと」（Q12）については「辞書について知識と理解が深まった」という声のほか、期末課題とした「オリジナル辞書」への達成感に言及した意見が見られ、うれしく思いました。</p> <p>次年度以降、授業をより有意義な内容にできるように改善を重ねたいと思えます。</p>

ビジネスリテラシー入門	板倉文彦	<p>本科目は毎週新聞課題を課しており、受講生の皆さんには大変だったかと思いますが、アンケートのフリーコメントからは前向きな意見が多く、学生の皆さんが頑張ってくれたものと思っています。アンケート項目では理解度が平均値を下回っており、今後は授業中の進行速度等により注意を払っていきたいと思います。</p>
日本文学の歴史 a 古代	佐藤辰雄	<p>1) 殆どの学生が強い受講動機を持ち(Q3、授業内容に興味があったから)、欠席も0回(Q1)、予復習も1.29hと多かったにも拘らず、Q11の成長実感とQ15の授業満足度が低かった結果には、彼女たちに申し訳ない授業であったと思う。大問Ⅱ全てが低い点からも担当教員の不出来に起因することが明らかである。</p> <p>2) こうした中にあっても自助努力を惜しまず手応えを覚えていたであろうことは、Q14自己採点が4.14とかなり高い予測値に示されている。アンケートに答えてくれた学生に対する教員評価は確定できないものの、受講生全員の成績評価平均は3.64だった。これは担当教員が長年にわたって当該授業で下す評価と大同である。</p> <p>3) Q19の自由記述欄で声が聞こえにくかった・マイク使用を希望する関連が2件寄せられた。Q10とも関わるこの問題は今後にも活かしたい。と言うのも当該教室は横に長い鰻の寝床教室なので、左を向いて語りかけると右に座る学生は視野からはずれ、マスク越しであるから尚のこと聞こえにくかったろうことは、もっと早く気付くべきであった。謝するところである。学生の声としては2件だが、受講生の多くに関わる問題に違いなく、後期授業・他教室においても留意したい。</p>
卒業研究 a ④	板倉文彦	<p>本科目は途中でオンライン授業となってしまいました。学生の皆さんからはグループワーク等の積極的な学びをもっと実施したかったとの意見を貰っており、後期へと続く「卒業研究b」では前期不足した分を可能な限り反映していきたいと思います。</p>
ことばと生活	大塚みさ	<p>ほぼ全員の回答者に授業に満足してもらえたことを、うれしく思います。今年の授業は双方向型(教室受講可)で実施しました。その目的は、「講義」の部分を配信動画で「予習」してもらい、授業ではグループワークやディスカッションを中心にするためでした。週当たりの予習復習時間(Q2)は平均程度でしたが、理解度は平均より4.1pt高かったため、各自がコツコツ自学習できていた証だととらえました。事後学修課題の提出率も高く、その内容は回を増すごとに非常に充実していて驚かされました。</p> <p>自由記述欄には、「ことば」「日本語」への関心のほか、「グループワーク」「発言」「ディスカッション」「respon」についての感想も多く寄せられており、みなさんの積極的な取り組みの成果を改めて実感できました。今後もさらに工夫を凝らして、受講生がアクティブに参加出来る授業運営を行いたいと思います。</p>
小説と戯曲の世界	高瀬真理子	<p>授業を主体的に受けたいと思う人の割合が高くないので、総じて授業の展開に苦労しました。小説的であることと、戯曲的であることの差異をもう少し明確にして、面白みを引き出す工夫をしたいと思います。</p>